

# ちば修平

しゅうへい

仙台市議会議員(太白区)

## 市政報告

Vol.3

令和3年3月31日



### 日本人のきずなを次世代へ

松下政経塾出身  
元全国紙社会部記者

《発行人》ちば修平(会派:自民党)

《事務所》

〒982-0807 仙台市太白区八木山南4丁目6-8-C

TEL&FAX: 022-796-2570

メール: shuric009@gmail.com

ちば修平公式HP: https://chiba-shuhei.jp

プロフィール

- 昭和50年1月24日生
- 太白すぎのご幼稚園、仙台市立上野山小卒、市立山田中卒
- 宮城県仙台第一高卒(高45回)
- 北海道大学法学部卒
- 京都大学大学院修了(公共政策専攻)
- 太白消防団八木山分団所属

仙台市議会の令和3年第一回定例会が行われ、一般会計5764億円を含む全会計1兆1094億円の令和3年度予算案と、新型コロナウイルス関連や福島沖地震に関連する補正予算案、議員報酬削減案等を可決し、約1か月にわたる議論が幕を閉じたので、ご報告させていただきます。

ちょうど1年前から続くコロナ禍により、多くの人が閉塞感の下で生活していると思います。ですが、必ず春はやってきます。苦境を乗り越え、思いをつなぎ、より良い未来を作るために、共に頑張ってください。

## 太白CCメガソーラー問題 規制条例の具体案を提言

一般質問

令和3年第一回定例会(2月)

自然の大規模改変を伴う大規模太陽光施設(メガソーラー)の建設をめぐり、全国各地で住民トラブルが相次いでいる問題。宮城県内でも「太白CCメガソーラー」(仙台市太白区秋保や丸森町はじめ、複数の場所で建設をめぐる住民トラブル)が起き、また、既に設置されたメガソーラーが自然災害を引き起こしたケースも明らかになっています。この状況を受け、今回は、国の法律(改正FIT法第15条)により、条例等関係法令に違反した事業者には、FIT認定資格の取り消しなどの厳しい処分を課すことができることを改めて確認。また、先進的と言われる神戸市の規制条例を参考に、仙台市の規制条例の具体案を提言しました。

### 事前積み立てなど違反なら認定取り消しも

#### ①保証金7億6500万円が必要

太陽光パネルが適正な撤去がなされない場合に備え、FIT制度で認定された全事業者を対象に、「廃棄等費用」を施工着工前に金融機関に一括で預入をする制度を作ること提案します。この預金については、市による質権を設定し、行政代執行時の保証金とします。神戸市条例に基づき計算する



▶9330筆の反対署名を都市長(左)に手渡す住民ら

と、太白CCメガソーラーは7億6500万円を事前に一括で金融機関に預ける計算となります。

国も、調達期間終了前の10年間で積立金を売電価格から積み上げさせる方式を検討していますが、仮に事業者が積み立ての途中で積み立てを始める前に、事業から撤退した場合、積立金が足りず、その結果、撤去、廃棄を自治体が負担せざるを得ない状況に陥る可能性があり不十分と考えます。

#### ②財務諸表の提出義務付け

定期的な財務諸表の提出を義務付け、事業者の経営状況をチェックする。

#### ③損害賠償責任保険への加入

パネルの飛散などで損害を受けた方々への補償がなされるよう、事業者に着工日から廃止日まで、他人の生命、身体および財産への損害を補填するための損害賠償責任保険への加入を義務付け。国のガイドラインでは、今年度から損害賠償保険の加入を「努力規定」にしていることですが義務化ではありません。

#### ④施設廃止後の土地の整地、景観との調和、防災措置

事業継続問題への対応(売電権が株のように売買され、所有者不明とならぬよう)

#### ⑥カドミウム等の有害物質を含むパネルは使わない

詳細は、「仙台市議会インターネット議事録」にて検索下さい

### 不適切な開発には歯止めを

#### 解説

本市では地球温暖化対策やエネルギー対策として、太陽光発電施設の導入を進めてきました。私自身も反対する立場ではありません。しかしながら、適正に設置や維持管理されていない太陽光発電施設により、災害の発生が助長され、安全で安心な生活環境が脅かされることに対する市民の懸念や不安が高まっています。

いるのも事実です。

FIT法は事業者への性善説で成り立っていますが、実際はグリーンではない、儲け第一主義の事業者や中国、韓国などの外資が多く含まれています。適切ではない開発に対し、規制条例により、時には認定取り消しも含めた力を持つことで、仙台市が主導権を握り、不適切な開発の歯止めとすることは大きな意義があると考えます。



予算審査等審査特別委員会 (教育費)

# デジタル教科書 慎重に検証を

今年度から、国の実証実験で、仙台市内の一部の小中学校に導入予定のデジタル教科書について質問し、その教育効果に期待したい反面、子供の教育が弊害が生じた場合、取り返しがつかないため、その効果の検証や紙とデジタルのバランスを慎重に検証するべきだと求めました。また、スマホ等のデジタル端末の長時間使用による、子供たちの健康や生活、さらに脳の発達への影響についても、慎重に調査すべきだと求めました。

紙と比較し、デジタルは「早く読める反面、浅い理解にとどまる、内容が記憶に残りにくい」「表面的で単純な作業には適している」など

の評価があり、紙の教科書を安易に捨て去るべきではないと考えます。現段階での議論が正しいか分かるのはまだ先の話ですが、だからこそ、批判的な視野も持ちながら、海外事例の研究や、研究機関と連携した検証を求めました。  
また、端末の負担は1台当たり4万5000円、5年間の使用を予定しており、導入時は国の負担ですが、更新の際の指針を国は示しておらず、万が一、自治体負担になった場合、仙台市においては更新費39億円程度がかかることも明らかになりました。他の政令市とも連携し、更新費も国が持つよう要望することを求めました。

# 体育館とプール セットで改修を 八木山中など

仙台市教委の「学校施設の長寿命化に関する方針が数年で変更になったため、校舎の大規模改修のみが行われ、その後、体育館の改修計画が作られないまま、据え置かれていた小中学校が8校あることを、今回の委員会でも明らかにしました。8校については、別途予算を確保し、優先的に大規模改修を行うよう求めました。

質疑では、例として仙台市立八木山中学校(仙台市太白区八木山東)の体育館を取り上げました。同校の体育館は昭和49年に建設さ



れ、令和元年10月の台風時には、避難所にも関わらず、数か所から雨漏りがあり、フロア面積、天井高も平均を下回り、トイレも不衛生です。



私からは、体育館とプールをセットで建て替えることで、効率化を図るなど、工夫ある改修を求めました。また、後日、教育委員会の担当部長、課長に現地視察をしてもらい、校長、教頭先生、地元町内会長、PTA会長の説明を直接聞いて頂きました。  
**(土木費、災害復旧費)**

## 郡山折立線青葉山工区の予備設計が始まる

仙台市太白区の八木山南と折立(青葉区)を結ぶ郡山折立線の青葉山工区概要を、委員会でも明らかにしました。延長は4km、うちトンネルは2kmをしめ、上下2車線の計4車線。総事業費は二百数十億円の見込みです。令和3年度は予備設計を進め、令和4年度以降

に事業認可を取得する予定です。が、トンネル工事で6年かかるほか、用地買収などの期間もかかるということです。私からは、八木山南側は、仙台市立八木山南小学校のすぐ近くにある閑静な住宅街であることを指摘し、児童や住民の生活環境への配慮や説明会などの開催、自然環境を守るための環境アセスメントを行うよう要望しました。また、次世代放射光施設が建設される「東北大青葉山キャンパス」につながる出入口を作ることにも検討すべきだと提案いたしました。

## 大年寺山公園、瑞宝殿の石灯籠の耐震化を

福島沖地震で倒壊した大年寺山公園や瑞鳳殿の石灯籠、青葉城址の石垣の被害状況と修復スケジュールを確認しました。また、昼間に発生していたら、市民が大けがを負った可能性も否定できないとの観点から、文化財等の価値を落とさない形での耐震補修の必要



性を示しました。今回、倒壊しなかつたものも耐震補修の対象とすべきだと求めました。

## ◆その他予算質問

- 消防団の小型ポンプ積載車を原則4WD化を(仮称)緑ヶ丘四丁目公園の開園時期は5月

## 修平抄

コロナ禍を機に、地元の有志らと共に「八木山駅前商店会」を正式に発足させ、ベニランドの八木社長らと共に、私も顧問に就任させて頂きました。かつて、八木山本町や八木山南にも商店会があったのですが、既に解散してしまいました。今回、苦しい時だからこそ、共に力を合わせ乗り切りたいとの思いで、地元の八百屋さん、不動産屋さん、クリエイター、コンピュータ会社さんや司法書士の先生ら多様な人材が、ボランティア

で一肌脱いでくれました。かなり多くの皆様にご加入頂きました。また、八木山地区では初となる「こども食堂」も地元の方に食材や場所をご提供いただき、実現に至りました。大きな話では、私が提言していた、東北大と仙台市が連携したスーパーシティ構想にも一歩踏み出し、事業者から50を超える件数の応募がありました。多くのスタートアップも育ち始めています。変わる意思さえあれば、ピンチをチャンスに変えることができま